学校だより　　御前崎市立白羽小学校

かがやく浜の子

令和8年度 11 月号①

令和８年度　重点目標　「自分から　チャレンジ」　　【文責　校長】

「子供が主役の授業づくり」　～上智大学・奈須正裕教授を迎えて～

本校では、教員が一方的に教え込むのではなく、子供たちが自ら問いを持ち、主体的に学びを進める「子供が主役の授業」の実現を目指し、現在、すべての学級で「自己調節学習」を取り入れています。

・「自己調節学習」…1 時間の中で「どの課題を、どういう順番で、どうやって進めるか」を子ども自身が自己決定して進める学習

このような子供たちの主体的な学びを支えるためには、「学びの環境設定」が大切です。学びの空間（一人でじっくりや友達と協力して学べる場）をつくったり、タブレット端末でヒント動画が見られるようにしたり、必要なヒントや教具を子供たちが自分で選んで手に取れるようにしたりと、空間や教材・教具をデザインし直す取り組みも進めています。





【1 年】「かさ・長さ・広さ」など、どれから学ぶか自分で選択　【２年】掛け算を具体物で表現する環境の設定
【３年】算数の発展学習のコースを自分で選択

この「子供が主役の授業」をさらに質の高いものへと進化させるため、先日、日本の教育界をリードされている上智大学教授の奈須正裕先生をお迎えし、校内授業研究会を開催しました。奈須教授が提唱される「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実は、まさに本校が目指す授業の姿です。

当日の授業でも、子供たちが自ら選んだ環境の中で、じっくりと課題に向き合う「個別最適な学び」の時間と、互いの気づきを共有し高め合う「協働的な学び」の時間を行き来しながら、夢中で学習に没頭する姿が見られました。

その後の研修会で、奈須教授からは、「子供たちが学びの環境を生かしながら、自律的に学んでいる姿が見られた。今後も個別の学びと協働的な学びを両輪で進めていくこと、子供がつい学びたくなるような環境を工夫していくこと」について評価及び助言をいただきました。

今回の研修で得たものを生かして、これからも子供たち一人ひとりが「自分が主役だ」と実感し、自立した学習者として育っていけるよう、全職員で日々の環境設定と授業改善に努めていきたいと思います。

10 月 30 日の参観会では、こうした授業改善の姿が見られたでしょうか？また、ご意見やご感想をお聞かせください。

日々の学校の様子は HP に掲載されています。ご覧ください。https://shirosho.jp/